

サクション カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 1.再使用禁止
- 2.再滅菌禁止
3. 接続箇所のコネクタをアルコール含有薬剤で消毒しないこと。
[コネクタにひび割れ等が生じるおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

代表例:(先端:クードチップ型)



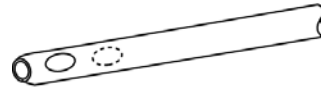
本品は喀痰あるいは気管内分泌物を吸引するカテーテルで、先端形状にはデーリーチップ型、エアロフローチップ型、クードチップ型及びチーマンチップ型が、手元側形状にはバキュームブレーカー型、ファネル型、TTCコネクタ型及びテーパー型のものがある。挿入深度をわかりやすくするため、セーフティマークが付いているものがある。

＜原材料＞

カテーテル: ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))

＜先端形状＞

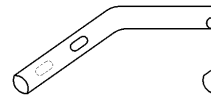
①デーリーチップ型



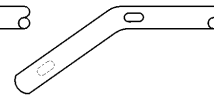
②エアロフローチップ型



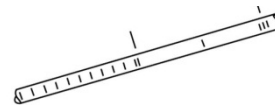
③クードチップ型



④チーマンチップ型



セーフティマーク付



＜手元側形状＞

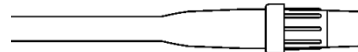
バキュームブレーカー型



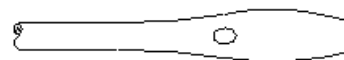
ファネル型



TTC コネクタ型



テーパー型



【使用目的又は効果】

気管内チューブ若しくは気管切開チューブを介して、又は経鼻的若しくは経口的に、咽頭、喉頭、気管又は気管支等に挿入し、吸引、排液及び異物除去等に用いること。

【使用方法等】

- 1.本品の接続端を吸引源に接続して吸引する。
- 2.吸引調節口付きのものは、吸引調節を調節口の開閉により行う。
- 3.気管内チューブ（又は気管切開チューブ）を介して使用する場合は、気管内チューブの内径に合わせて、適切なサイズを選択し、気管内チューブに挿入する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- 気管内チューブ（又は気管切開チューブ）に挿入して吸引するとき、気管内チューブ内径にあったサイズを選択すること。
- 引っ張る際に抵抗が大きいときは、カテーテルを回転させながら引き抜くこと。[気管内チューブに入れた状態でカテーテルに必要以上の引張り力が加わると、破断することがあるため。]
- 使用中に本品に使用されているポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出する可能性があるので注意すること。

2.不具合・有害事象

過剰に気管内を吸引すると、以下の有害事象があらわれることがあるので、異常が認められたら直ちに適切な処置をすること。

1)その他の不具合

機器の破損/変形、挿入困難、閉塞、接続外れ

2)重大な有害事象

無気肺、低酸素症、気管支粘膜の損傷、出血

【保管方法及び有効期間等】

1.保管の条件

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

2.有効期間

包装上に記載（自己認証(当社データ)による）。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

日本コヴィディエン株式会社

カスタマーサポートセンター:0120-917-205